

新潟県立がんセンター新潟病院 地域医療連携だより

NEWSLETTER



平成 24 年 10 月

「周術期における口腔機能の管理」に関する

がん患者医科歯科医療連携事業が始まります

県立がんセンター新潟病院 口腔外科 非常勤

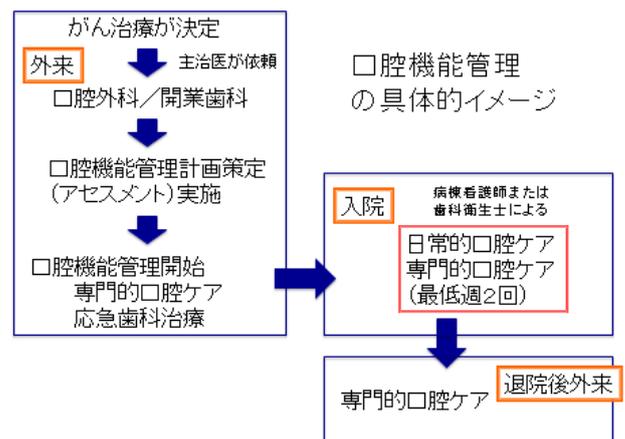
田中 彰

(日本歯科大学新潟病院 口腔外科)

平成 24 年度の診療報酬改定において、「周術期における口腔機能の管理」が新たに収載されました。これは、周術期における口腔機能の管理等におけるチーム医療の推進を行うもので、主として術後の誤嚥性肺炎等の外科的手術後の合併症や化学療法、放射線療法中の口腔粘膜炎をはじめとする口腔合併症の軽減を目的として、がん患者等の周術期等における歯科医師の包括的な口腔機能の管理等を評価するという内容です。そして、平成 24 年 9 月 6 日に新潟県立がんセンター新潟病院と新潟県歯科医師会のがん患者医科歯科医療連携事業の調印式が執り行われ、連携協議会が正式に発足し、連携がいよいよスタートする予定です。

近年、各種がん治療で様々な要因から発生する口腔環境の悪化と継発する合併症により、治療完遂率の低下や治療期間の延長、QOLの低下が生ずることが問題視され、口腔衛生・歯科的管理の重要性が増してきました。特に周術期や抗がん剤治療、造血幹細胞移植等における感染防止予防策、口腔粘膜炎軽減策として、口腔衛生管理、術前の口腔ケアは重要視されています。口腔ケア施行群と

未施行群では有意に、発熱患者が減少することや、頭頸部癌や食道癌において術後感染が減少することが報告されています。また多発性骨髄腫や乳癌、前立腺癌などの骨転移を有する進行性がん患者さんに対しては、ビスフォスフォネート製剤が有効で静注薬が使用されますが、経口薬に比して副作用である顎骨壊死の発生頻度は高く、投与される患者さんの歯科的管理、口腔衛生の維持は大変重要となっています。



一方、がんで治療中の患者さんが、歯科的問題を抱えて、歯科診療所に来院した場合、歯科治療計画の立案において、がん治療のスケジュールや合併症の状況が大きく影響を及ぼします。抗がん剤治療中の場合は、今後の抗がん剤投与予定により歯科医院への通院回数が限定されるばかりか、抗がん剤の副作用である好中球減少症による易感染性や汎血球減少症（血小板減少症）による出血傾向にも留意して、口腔ケアや歯科治療を行う必要があります。このように、がん患者さんの歯科治療では、より緊密ながん治療主治医との連携と歯科医師側のがん治療に関わる基礎的な知識の具備が必要となってきます。

がん治療における様々な合併症の回避につながる口腔機能管理・口腔ケアは、がん治療に必須事項となりつつあります。これまで、県立がんセンター新潟病院の口腔外科は、20 年来にわたって、がん治療で入院中の患者さんの口腔外科的処置や歯科治療、口腔ケアを行ってきました。しかし、がん罹患患者さんの増加や外来通院治療するがん患者さんが増加している現状では、病院内の口腔外科だけで完遂するのは困難となっています。現在、外来通院される患者さんは、日本歯科大学新潟病院の口腔ケアセンターという専門部署に依頼して対応していますが、遠方から通院する患者さんにとって、居住地域の歯科診療所で適切な口腔ケアを受療できることが理想です。発足した連携協議会では、近日中に、全県の歯科医師、歯科衛生士を対象とした研修会を開催し、連携歯科医院の登録に向けて、連携体制を構築していく方向と想われます。

患者さんにとって有益となる口腔機能管理・口腔ケアの連携の輪が、県立がんセンター新潟病院をスタート地点に、1 日も早く県内全域のがん治療を行う急性期病院に広がっていくために、口腔外科は連携のキーステーションとして機能すべく、診療体制を充実させていきたいと考えています。

ボランティアコンサート

平成 24 年 9 月 9 日(日)に、ロービーコンサートが行われました。出演して下さったのは、ボーカルは Miyako さん、ピアノ演奏は Takako さんでした。当日は、大勢の方が聴きに来られ、素敵な歌声と流れるようなピアノの演奏に、心を打たれ、安らぎを感じさせていただきました。



曲目はジャズや懐かしい昭和の唱歌、演歌など幅広いジャンルの演奏で、一緒に口ずさんだり、しみじみとした楽しい時間を過ごすことができました。

出演された皆様方、本当にありがとうございました。



認定看護師紹介



患者さんの“治療”と

“自分らしい生活”の両立をめざして

がん化学療法看護 認定看護師 磯貝 佐知子



私は平成22年にがん化学療法看護認定看護師の資格を取得し、現在、外来でがん化学療法を行う外来化学療法室に勤務しています。近年、医療情勢や副作用対策の進歩により、がん化学療法は外来で行うことが多くなっている現状です。

がん化学療法は、治療が長期間にわたること、副作用や治療内容により生活に制限が生じてしまうという特徴があります。安全で確実な治療を提供するために、他分野の認定看護師や他職種との協働や地域と連携し、患者さん個々の生活に合わせた支援を行っています。同時に、そばにいる医療者として、治療を受ける患者さんやご家族の不安、大切にしている想いを支えられる存在となるように心がけています。また、認定看護師として、患者さんが院内どこでも安全・確実・安楽にがん化学療法を受けられるよう、医療スタッフへの教育活動や相談の対応などを行っています。

がん化学療法の分野は日進月歩であり、勉強の毎日です。未熟な自分を感じることもあります。患者さんやご家族からのお声かけに元気をいただきながら奮闘しています。今後も部署間や他職種、地域との連携を大切にしながら、患者さんやご家族が治療を継続しながらも、自分らしい生活を過ごすことができるように支援していきたいと思っています。



～認定看護師からのワンポイント情報～



「インフルエンザの予防」

感染管理認定看護師 武石雅幸

インフルエンザは例年12月～3月頃に流行します。その予防は、①流行前のワクチン接種、②外出後の手洗いとうがい、③十分な休養とバランスのとれた栄養の摂取、④流行時人混みへの外出を控える、⑤外出時のマスク着用などが重要です。

新潟県立がんセンター新潟病院 2012年（平成24年）10月外来診療予定表

10月1日現在

科	曜日	月	火	水	木	金
内科	401診	D 張 高明		D 廣瀬 貴之		B 林 芳樹
	402診	C 高山 亜美	D 今井 洋介	C 大倉 裕二	D 石黒 卓朗	D 今井 洋介
	501診	C 大倉 裕二	F 谷 長行	F 谷 長行		F 谷 長行
	502診	A 青柳(午前) A 加藤(午後)	E 大山 泰郎	A 加藤 俊幸	E 大山 泰郎	B 阿部 徹哉
	601診	B 横山 晶	A 本山/栗田(隔週)	B 阿部 徹哉	A 栗田 聡	B 田中 洋史
	602診	A 本山 展隆	A 船越 和博	A 佐々木 俊哉	A 船越 和博	C 高山 亜美
	201診	B 田中 洋史		B 樋浦 徹		B 馬場 順子
	新患 (2診体制)	A 佐々木 俊哉 B 阿部 徹哉 F 谷 長行	A 青柳 智也 B 林 芳樹 C 大倉 裕二 D 石黒 卓朗	A 船越 和博 B 田中 洋史 D 今井 洋介 E 大山 泰郎	A 加藤 俊幸 B 馬場 順子 C 高山 亜美 D 廣瀬 貴之	A 本山 展隆 A 栗田 聡 B 樋浦 徹 D 張 高明
*新患は2名の医師が担当します。当日の担当医についてはお問い合わせください。						
A：消化器 B：呼吸器 C：循環器 D：血液 E：内分泌 F：糖尿病						
小児科	1診	浅見 恵子	小川 淳	渡辺 輝浩	浅見 恵子(～11:00) 長期フォローアップ外来 (11:00～)	小川 淳
	2診					渡辺 輝浩
外科	1診	佐藤 信昭(乳腺)	梨本 篤(胃)	土屋 嘉昭(肝胆脾)	中川 悟(食道)	瀧井 康公(大腸)
	2診	金子 耕司(乳腺)	藪崎 裕(胃)	野村 達也(肝胆脾)	松木 淳(胃)	丸山 聡(大腸)
	3診	西垣 大志	會澤 雅樹	神林 智寿子(乳腺)	番場/大澤(交替)	中山/福本(交替)
	予防外科-乳腺		金子/長谷川	佐藤 信昭	神林 智寿子	佐藤/神林(交替)
*乳腺外科については原則予約制となりますので、あらかじめご了承ください。						
呼吸器外科		吉谷 克雄	小池 輝明	篠原 博彦(午前) 吉谷 克雄(午後)	小池 輝明	篠原 (1, 3, 5週) 吉谷 (2, 4週)
整形外科	新患	(交替で診察)	畠野 宏史	小林 宏人	守田 哲郎	村井 丈寛
	再来	守田 哲郎	交替・予約患者のみ	村井 丈寛	畠野 宏史	小林 宏人
*整形外科は完全紹介制となりますので、あらかじめご了承ください。 *なお火曜日の再来は、予約患者の診察のみとなります。						
神経内科		原山 尋実	二宮 格	原山 尋実		原山 尋実
脳神経外科	1診	宇塚 岳夫		宇塚 岳夫	高橋 英明	高橋 英明
	2診	高橋 英明		高橋 英明	宇塚 岳夫	宇塚 岳夫
婦人科	1診	児玉 省二	本間 滋	笹川 基	菊池 朗	本間 滋
	2診	笹川 基	菊池 朗	菊池 朗	児玉 省二	笹川 基
	3診		児玉 省二	本間 滋	本間 滋	児玉 省二
*婦人科3診については原則予約制となりますので、あらかじめご了承ください。						
皮膚科	新患	竹之内 辰也	高塚 純子	竹之内 辰也	林 良太	高塚 純子
	再来	高塚 純子	竹之内 辰也	竹之内 薫子	高塚 純子	竹之内 辰也
泌尿器科	1診	北村 康男	小林 (1, 3, 5週) 北村 (2, 4週)	斎藤 俊弘	斎藤 俊弘	北村 康男
	2診	小林 和博	信下 (1, 3, 5週) 斎藤 (2, 4週)	小林 和博	信下 智広	信下 智広
*新患については紹介状が必要となりますので、あらかじめご了承ください。						
眼科		原 浩昭	原 浩昭	原 浩昭	原 浩昭	原 浩昭
頭頸部外科	1診	佐藤 雄一郎	山崎 洋大		佐藤 雄一郎	佐藤 雄一郎
	2診	小木 学	小木 学		山崎 洋大	小木 学
*2012年（平成24年）4月より耳鼻咽喉科の名称を変更しました。						
放射線治療科	1診	杉田 公	杉田 公	杉田 公	松本 康男	松本 康男
	2診	松本 康男	松本 康男	松本 康男	杉田 公	杉田 公
*木曜日の新患依頼は対応できない場合がございます。ご了承ください。						
麻酔科		丸山 洋一、高田 俊和、富田 美佐緒（月～金 予約可能）				
緩和ケア科		齋藤 義之	齋藤 義之	齋藤 義之	齋藤 義之	齋藤 義之
*当院に受診中であり、主治医より紹介された方を対象としております。						

※ 変更となる場合がございますので、事前にご確認ください。（電話：025-234-0011）

新潟県立がんセンター新潟病院 地域連携・相談支援センター(地域連携部門)

TEL:025-234-0011 FAX:025-234-0022 受付時間 月～金 8:30～17:30

地域連携・相談支援センターを通して予約した場合、原則として予約日当日に行える検査

CT、腹部超音波、MRI、食道・胃・十二指腸内視鏡、PET-CT

時間外のFAXについては、平日夜は翌朝、金曜夜から日曜は月曜の朝にお返事申し上げます